

地域みんなで考える わたしたちの医療の これから

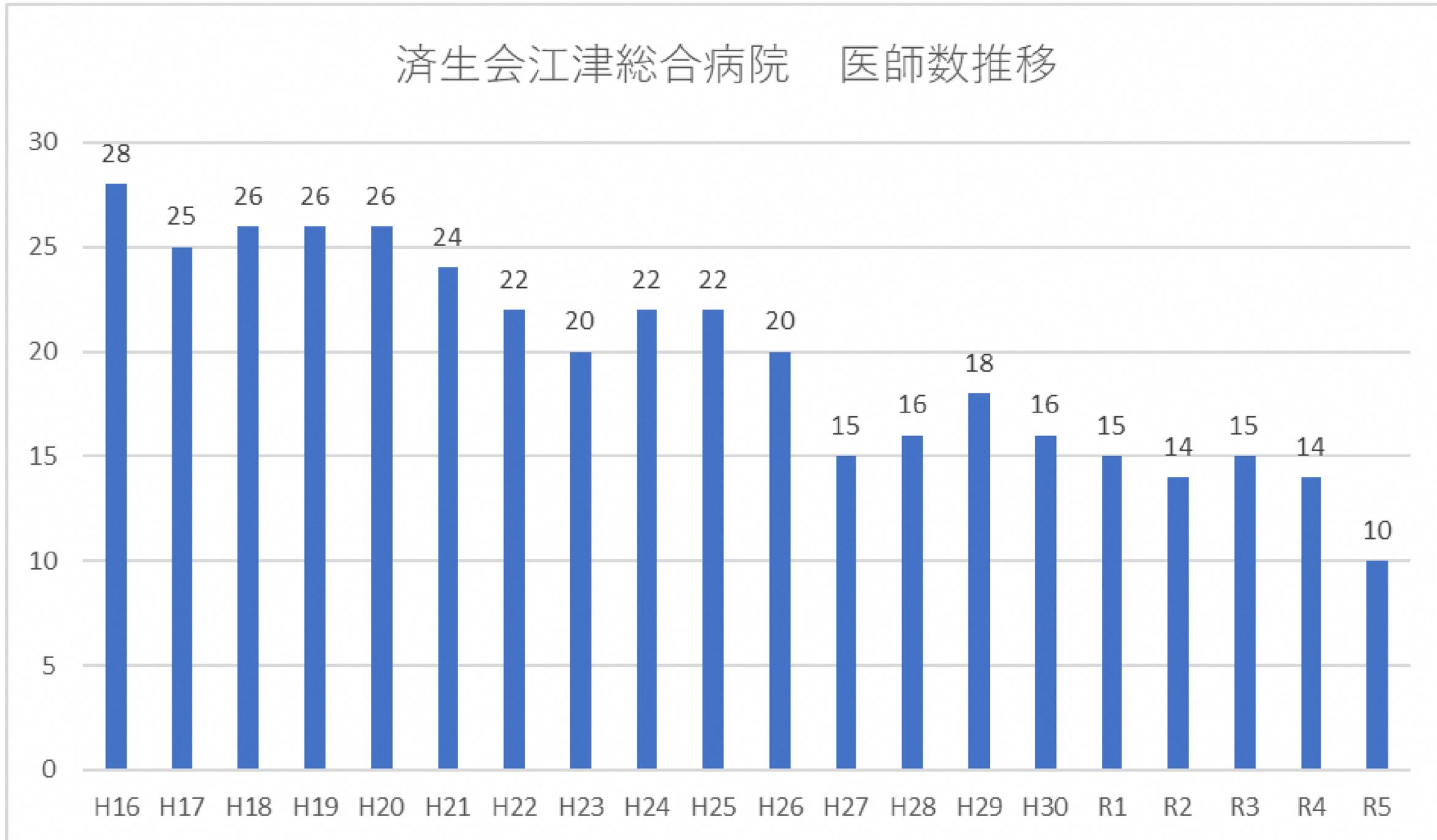


2025年5月 江津市議会第19回議会報告会
地域医療対策特別委員会



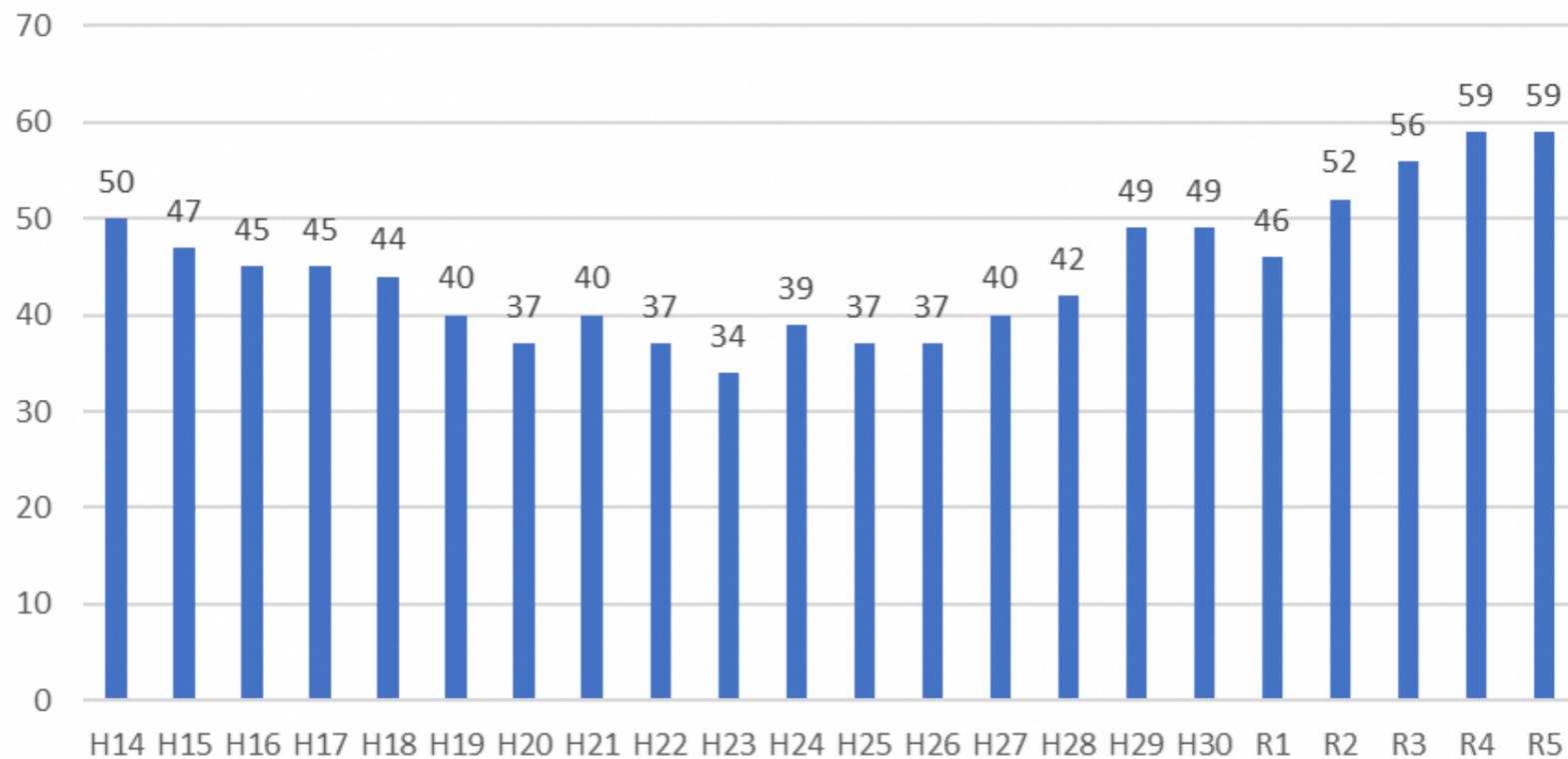
地方は医師不足で
困難に直面している

「どこの地域も医師は減っている」・・・？



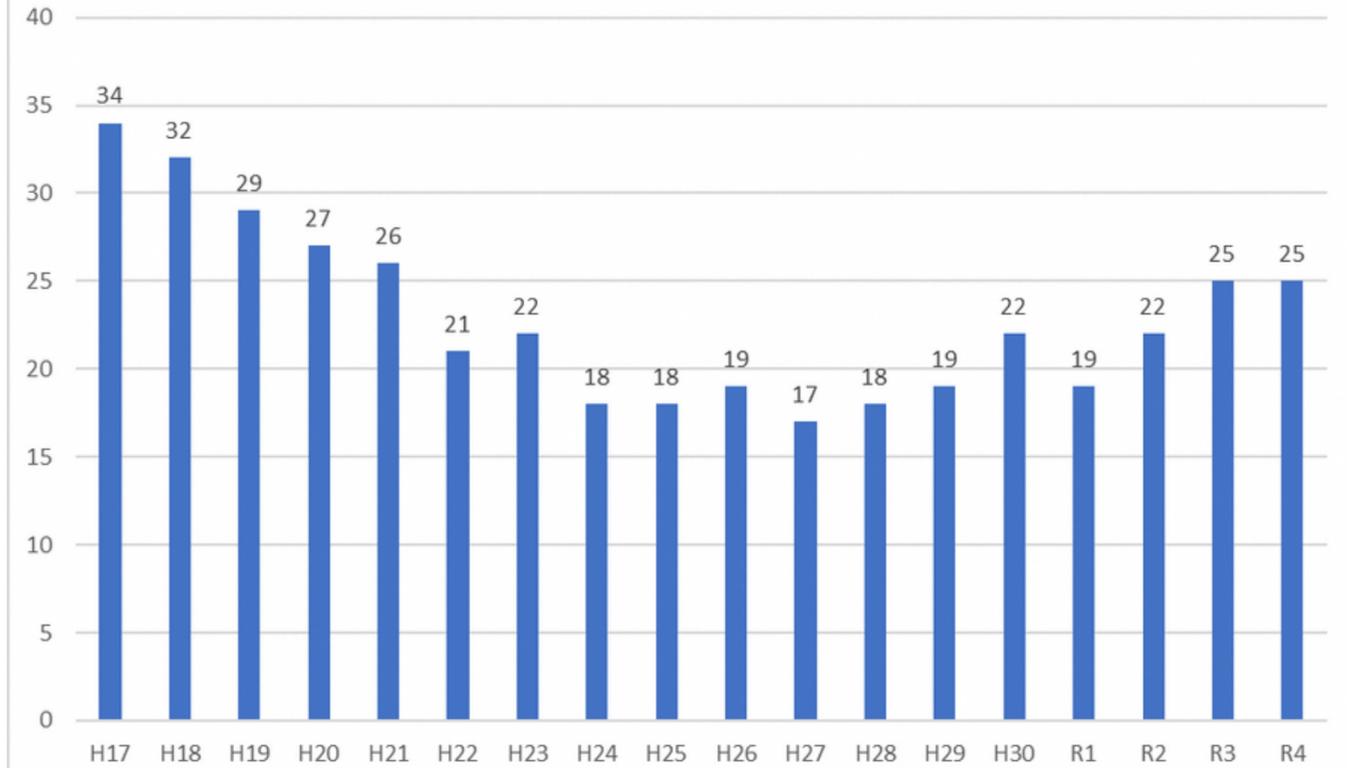
しかし！ 近隣の病院を見ると
一時期、医師数が減少したが
減り続けているわけではない

益田赤十字 医師数推移



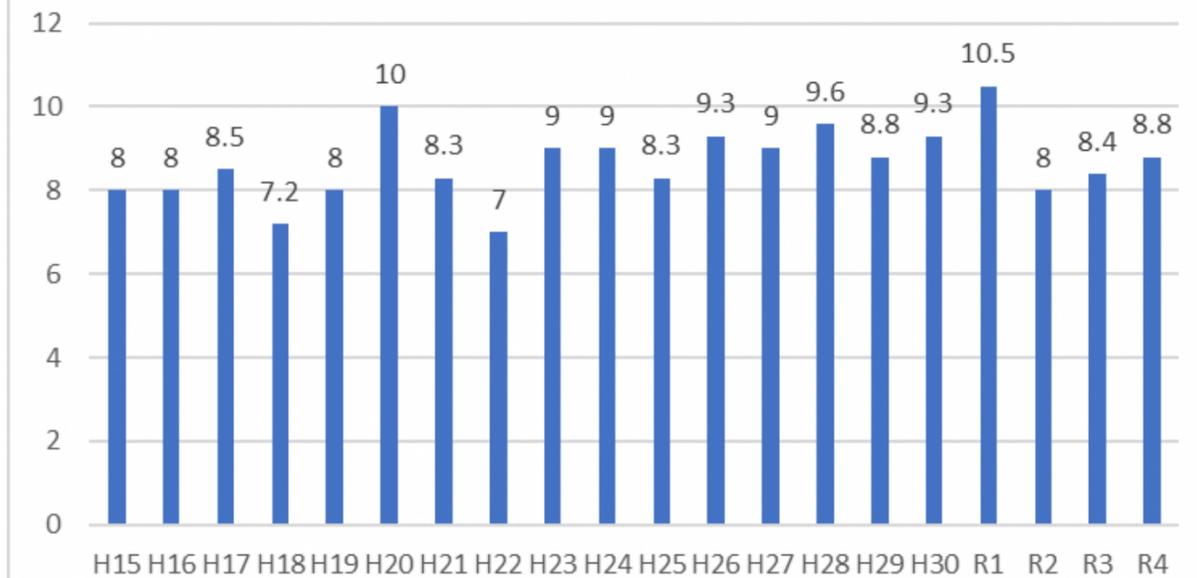
益田市から島根県への要望書より

大田市立病院 医師数推移



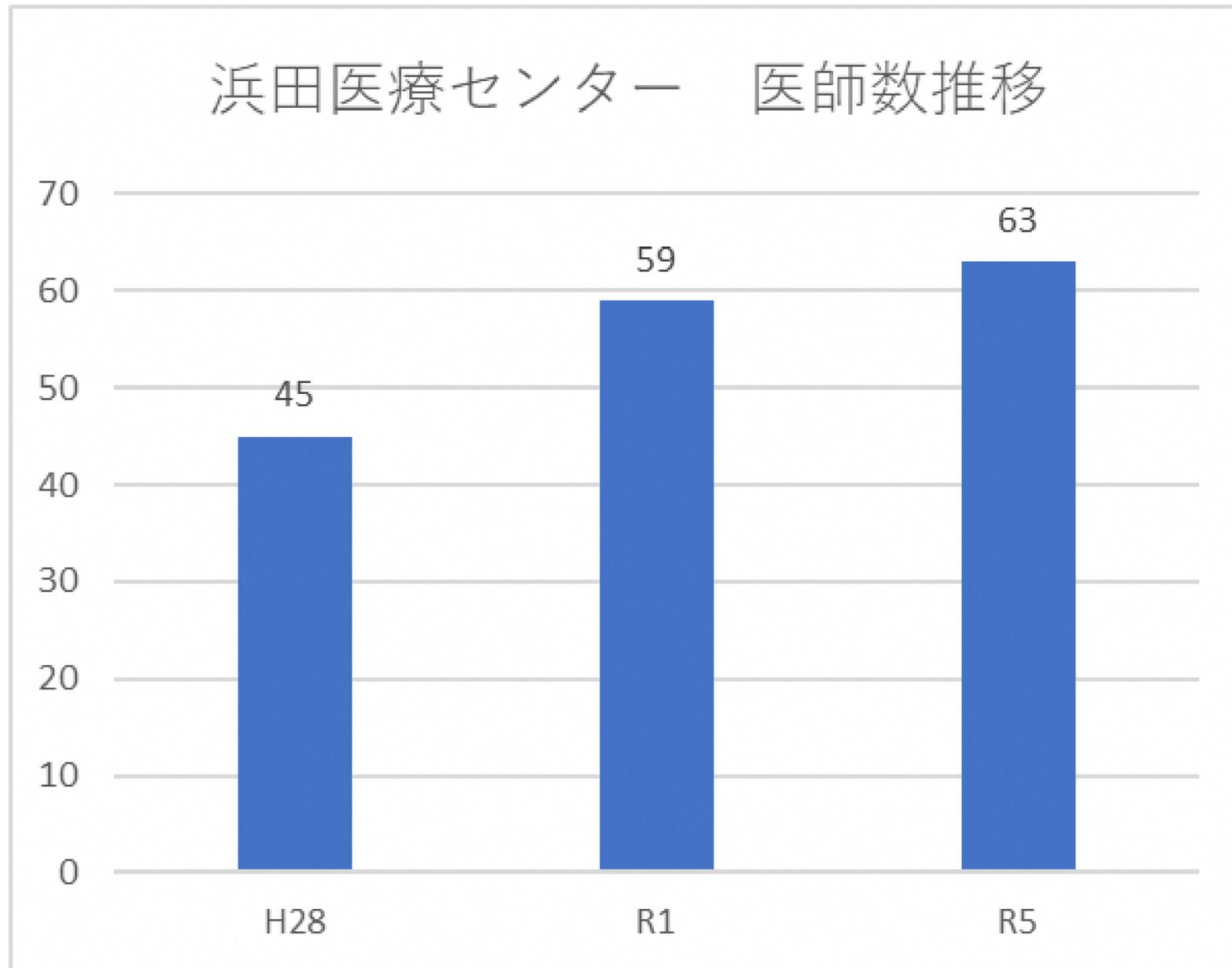
※大田市立病院統計書『あゆみ』職員数 医療職（一）より

邑智病院 医師数推移



※公立邑智病院経営強化プラン常勤医科医師数（人）より

近隣病院の状況はそれぞれ異なります。



※浜田市広報誌より

浜田医療センターの常勤医師数については、平成28(2016)年4月には45名まで減少しましたが、臨床研修体制の充実・強化、大学からの医師派遣増により、令和5(2023)年4月には63名まで増加しました。

江津市が含まれる浜田医療圏域は「外来医師多数区域」に該当

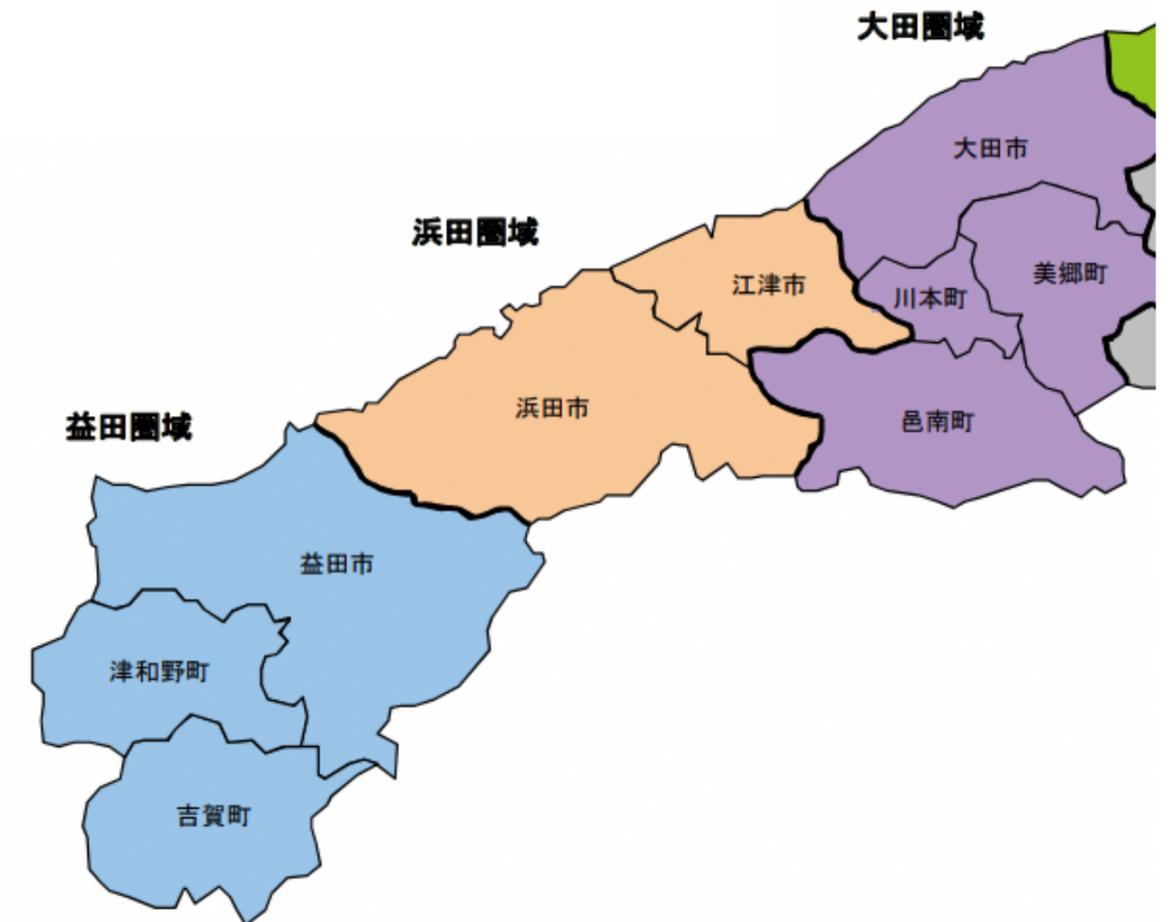
第5節 外来医師多数区域の設定

【外来医師偏在指標】

圏域名	外来医師偏在指標	全国順位 (335 圏域中)	多数区域
松江	115.5	6 2	外来医師多数区域
雲南	90.9	2 1 6	
出雲	124.5	3 9	外来医師多数区域
大田	106.2	1 0 9	外来医師多数区域
浜田	113.0	7 1	外来医師多数区域
益田	97.5	1 6 4	
隠岐	103.1	1 3 1	

【多数区域内の外来医師不足地域】

圏域名	外来医師不足地域
松江	島根半島沿岸部、安来市南部
出雲	湖陵地区、平田地区
大田	大田市街地以外、邑智郡
浜田	旧那賀郡、江津市



江津市は外来医師不足地域だけど、所属圏域は外来医師多数区域

※島根県外来医療計画・島根県地域医療構想より

私たちはどれくらい地域医療の現状を知っている？

圏域別医師数の推移

単位：人

調査年	全国	島根県	圏域別						
			松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐
平成18年	277,927	1,939	627	90	739	116	178	151	38
平成20年	286,699	1,911	609	82	743	113	189	141	34
平成22年	295,049	1,900	599	73	746	104	200	143	35
平成24年	303,268	1,946	614	79	775	101	201	143	33
平成26年	311,205	1,947	647	76	776	101	187	125	35
平成28年	319,480	1,975	644	80	804	101	175	139	32
平成30年	327,210	2,050	651	82	834	107	205	136	35
令和2年	339,623	2,108	691	81	847	111	205	139	34
令和4年	343,275	2,153	703	95	842	106	213	155	39

島根県 医師数：令和4年12月31日現在（R4医師・歯科医師・薬剤師統計）より

「地方は~~医師不足~~医師の偏在で
困難に直面している」

イメージと事実が違っていませんか？

そのほか、地域医療が直面して
いる課題は何でしょうか？

私たちは、現状を把握できているのでしょうか？

地域医療について江津市議会の動き



- 2024年5月 益田市議会の地域医療の取り組みを視察
- 2024年9月 視察結果をふまえ江津市議会藤間議長へ提言
- 2025年1月 江津市内の市民団体（40団体）と議員全員が「地域医療を守ること」について意見交換開始
- 2025年4月 意見の中間取りまとめ・今後の取り組み案作成
- 2025年5月 議会報告会にあわせ、住民の皆さまへ
 - ・意見中間取りまとめ報告
 - ・今後の取り組み案の提示
 - ・さらなる皆さまとの意見交換

本日

「地域医療を守ること」について
2025年1月以降、これまでに
皆さんとの意見交換で得られた
内容を報告します。

※今回は1月～3月間にお話できたものをまとめた中間報告です。
今後も意見交換を続けます。

「地域医療を守ること」について意見の中間まとめ



1. みんなの声を集めよう！

2. みんなで話し合おう！

3. 具体的な解決策を考えよう！

4. 色々なところに助けてもらおう！

5. みんなに知らせて、協力してもらおう！

1. みんなの声を集めよう！

- アンケートを作って、みんながどんな病院や先生を必要としているか調べよう。
- 病院の人たちに話を聞いて、どんなことが大変なのか、何に困っているのか教えてもらおう。
- 他の地域でうまくいっていることを調べて、参考にできることはないか探そう。

※皆さんの意見を、今後のアクションにつながる表現にして5つの項目に集約しました。

「地域医療を守ること」について意見の中間まとめ



1. みんなの声を集めよう！

2. みんなで話し合おう！

3. 具体的な解決策を考えよう！

4. 色々なところに助けてもらおう！

5. みんなに知らせて、協力してもらおう！

2. みんなで話し合おう！

- 市民と病院の人が集まって、直接話せる場を作ろう。
- 子供がいる人、お年寄りの人など、色々な世代の人たちが集まって意見交換しよう。
- 市役所の人、病院の人、地域の人、みんなで一緒に話し合って、どうすれば良くなるか考えよう。

※皆さんの意見を、今後のアクションにつながる表現にして5つの項目に集約しました。

「地域医療を守ること」について意見の中間まとめ



1. みんなの声を集めよう！

2. みんなで話し合おう！

3. 具体的な解決策を考えよう！

4. 色々なところに助けてもらおう！

5. みんなに知らせて、協力してもらおう！

3. 具体的な解決策を考えよう！

- お医者さんがもっと来てくれるように、どんなことができるか考えよう。(例えば、働きやすい環境を作るとか)
- 病院同士がもっと協力して、情報を共有したり、役割を分担したりできるようにしよう。
- 病院に行きやすいように、バスの本数を増やしたり、オンラインで診察を受けられるようにしたりしよう。

※皆さんの意見を、今後のアクションにつながる表現にして5つの項目に集約しました。

「地域医療を守ること」について意見の中間まとめ



1. みんなの声を集めよう！

2. みんなで話し合おう！

3. 具体的な解決策を考えよう！

4. 色々なところに助けてもらおう！

5. みんなに知らせて、協力してもらおう！

4. 色々なところに助けてもらおう！

- 国や県にもっとお金を出してもらったり、法律を変えてもらったりできるように、お願いしよう。
- 近くの市や町と協力して、病院と一緒に運営できないか考えてみよう。
- 会社や大学など、色々なところに協力してもらって、新しいアイデアを出してもらおう。

※皆さんの意見を、今後のアクションにつながる表現にして5つの項目に集約しました。

「地域医療を守ること」について意見の中間まとめ



1. みんなの声を集めよう！

2. みんなで話し合おう！

3. 具体的な解決策を考えよう！

4. 色々なところに助けてもらおう！

5. みんなに知らせて、協力してもらおう！

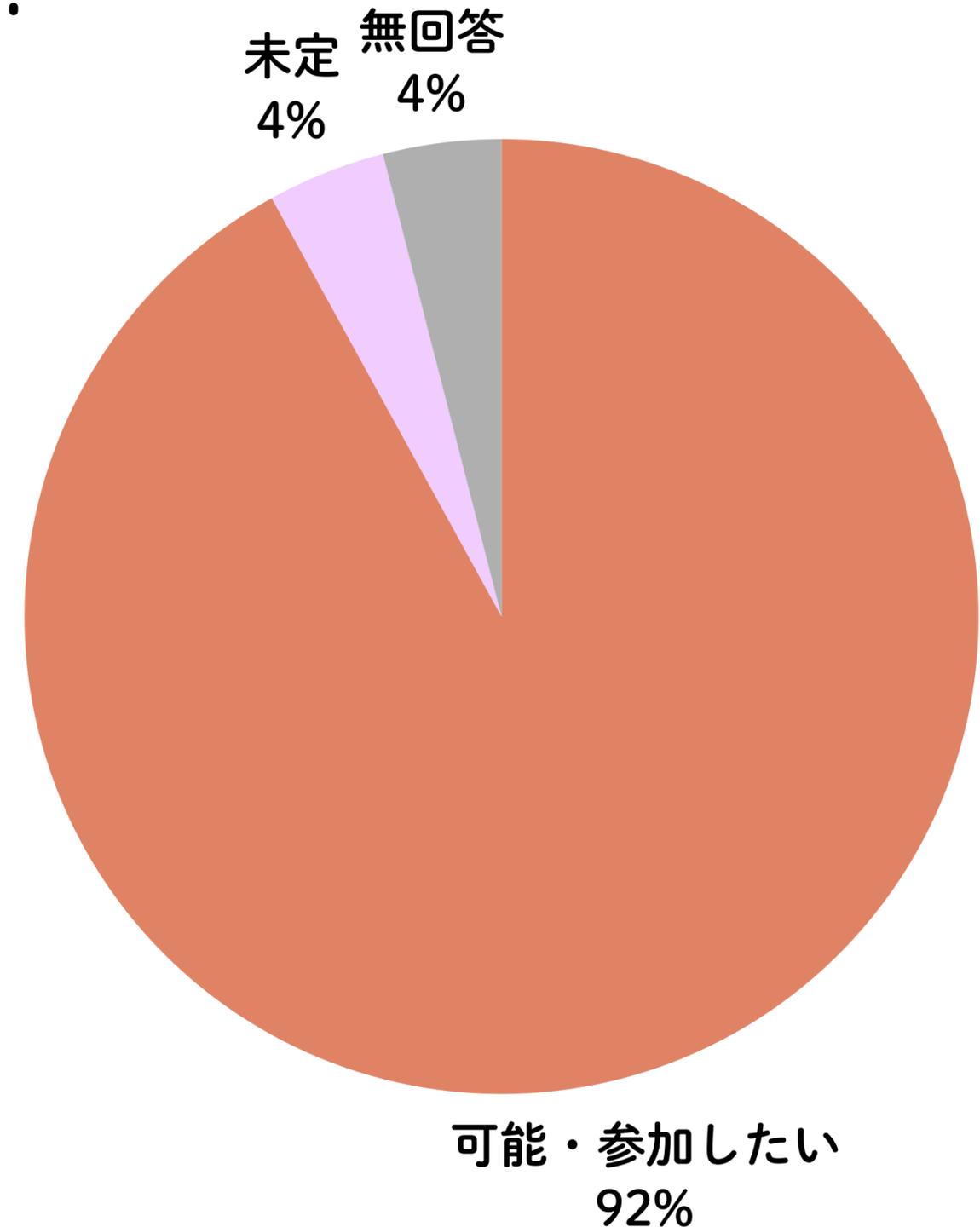
5. みんなに知らせて、協力してもらおう！

- 病院の情報や、どんな取り組みをしているかを、わかりやすくみんなに伝えよう。（例えば、地域の広報誌やインターネットを使うなど）
- 医療に関するイベントを開いて、みんなで一緒に考えたり、学んだりする機会を作ろう。
- 困ったときに相談できる窓口を作って、みんなが安心して医療を受けられるようにしよう。

※皆さんの意見を、今後のアクションにつながる表現にして5つの項目に集約しました。

問：今後、地域医療に関するシンポジウムなど
呼びかけても良いですか？

否定的意見なし！
みんな地域医療を
心配している



その他の意見

■地域のお医者さん不足と救急の問題

- ・地域にはお医者さんが少なく、急病やケガの時にすぐに診てもらえるか不安という声が多くあります。
- ・特に、子供を産むための産婦人科や、子供を専門に診る小児科が少ないことが問題になっています。
- ・救急車で運ばれる時に、どこに運ばれるか分からないという不安も大きいようです。

■病院への期待と、更なる改善への願い

- ・病院には、地域の人々から「病院は頑張っている」という期待の声がある一方で、更なる改善を望む声も上がっています。
- ・例えば、「検査が何度も行われて、患者さんの負担になっているかもしれない」「お医者さんや看護師さんの対応について、より丁寧なコミュニケーションを望む声がある」「介護・障がい者福祉とのさらなる連携も必要」といった意見があります。
- ・病院には、お年寄りの介護や、家で療養する人のサポートなど、地域に合わせた役割を期待する声もあります。
- ・病院のほかにも、行政や市議会の地域医療への取り組みが良くわからないので、情報の共有を希望しています。

■病院に行くのが大変、予防も大切

- ・地域によっては、病院に行くための交通手段が少なく、通院が大変という問題があります。
- ・また、病気にならないように、健康づくりをもっと積極的に行うべきという意見もあります。
- ・地域全体で、お年寄りが元気でいられるような取り組み（体操など）も大切だと考えられています。

以上が「地域医療を守ることについて」
皆さんの意見をまとめたものです。

次に、皆さんとの意見交換で
分かった事についてお伝えします。

江津市の地域医療を守ることにについて、
私たち住民の現状（意見交換で分かったこと）

- ① 私たちは地域医療の状況を知らない。
- ② 私たちは住民の立場で何ができるかを知らない。
- ③ 私たちは誰もが地域医療を守りたい、存続してもらいたいと思っている。

江津市の地域医療を守ることにについて、
私たち住民の現状（意見交換で分かったこと）

① 私たちは地域医療の状況を知らない。

個別の体験や知り合いの話は知っているが、全体像は知らない。
イメージが事実と異なる。例：×どこも医師が減っている⇒○近隣は医師が増えている

② 私たちは住民の立場で何ができるかを知らない。

地域医療を守るといっても、住民の立場でできる事は少ないのでは？
そのための行政や病院ではないか？住民の意見を聞いて意味がある？

③ 私たちは誰もが地域医療を守りたい、 存続してもらいたいと思っている。

医療従事者の方は何に困っているのだろうか？できることがあるなら協力したい。
人口減少で仕方ないと思っていたが、良い方法があるなら知りたい。協力したい。

江津市議会 地域医療対策特別委員会は
地域医療を守る取り組みについて視察しました。

その結果、近隣地域は
「住民・医療関係者・行政」が連携して
地域医療を守っていることが分かりました。

また、
住民の立場だからこそできる事がある
ということも分かりました。

近隣地域の住民取り組み事例

近隣の住民は動いています

- ・雲南市民病院ボランティアの会
- ・公立邑智病院を支援する会
- ・益田の医療を守る市民の会
- ・・・など

毎年、各地域の住民の会の皆さんが集まってシンポジウムが開催されています

2023 in 島根 **地域医療を**

コロナ禍で住民活動の変化と未来に向けて
コロナ禍で困ったこと工夫したこと

守り育てる住民活動

◆基調講演Ⅰ
島根県健康福祉部
医療統括監 谷口 栄作 先生
「島根の地域医療と住民協働（仮）」

◆基調講演Ⅱ
自治医科大学地域医療学センター
センター長/教授 松村 正巳 先生
「地域医療を支え守るもの2023
～コロナ禍を経て～」

◆活動報告
雲南市民病院ボランティアの会「てごっ人」会長 石川 勝 氏
公立邑智病院を支援する会 会長 南原 博文 氏
益田の医療を守る市民の会 会長 尾庭 昌喜 氏
◆グループディスカッション



7月1日(土) 13:30~16:45

会場 出雲ロイヤルホテル
開催方法 ハイブリッド開催 (現地及びZoom)

《お問合せ先》島根大学医学部地域医療支援学講座

島根県内での活動事例を 聞きに行くことができます (全国シンポジウムも開催されており、 全国事例を聞きに行くこともできます)

行政 病院 住民
それぞれ担う部分を 認識して

住民が担う部分は・？

- ・・・ 行政や病院では できない部分を
- 例 赴任した医療従事者を大切にする
- 医療従事者を育てる
- 病院ボランティア
- 病院の住民向け事業への参加

住民だからできること・
住民にしかできないことを・・・

活動紹介1 がんばれ雲南病院市民の会



- ◆医療の状況を市民に伝える◆
- ・啓発用パンフレットの発行
 - ・市民や地域対象の研修会
 - ・小学校などへのふるさと教育
 - ・サンキューメッセージ
 - ・ボランティア活動資金支援



※講演会「住民による地域医療を守る取り組み ～雲南市の事例～」より抜粋
島根大学医学部地域医療支援学講座『住民が担う地域医療』講師 矢壁敏宏氏

医療者を「人」として迎えられるのは同じ地に住む「住民」のみ

医師が安心して県内で勤務するための対策

- 医師としての**こころざし**、**生きがい**は人それぞれ。
「好きなこと」「得意なこと」
「世間が必要とすること」「稼げること」の**バランス**
- 大学医局の体制と大学医局からの派遣調整
(病院診療とキャリア希望がマッチするか)
大学医局をどう選ぶか、
そこでどう**キャリア**を積んでいくかが、安心につながる
- 地域医療支援**センター**の地域枠医師のキャリア支援
(面談通して、各医局との調整もしている)
- 自身の医療提供が住民の**生活の質を高める**仕組みづくり
(院内院外診療ネットワーク 江津の**心不全パス**)
- 何よりも地域の魅力(暮らし続けたい地域) **地域愛着**
地域枠、自身・家族の生きがいや子の教育

多くの人材が、この地を選ぶかどうかは、
住民一人ひとりにかかっている！

医療者を育てる市民(患者)活動



26

※2025年2月17日 江津市議会地域医療対策特別委員会 勉強会より抜粋
「島根県の地域医療構想」講師 浜田保健所 所長 中本稔氏

まとめ

江津市議会から住民の皆さんへの提案

現在、江津市では活動している「地域医療を守る住民の会」はありません。しかし、皆さんの意見を聞いた結果、以下の取り組みが江津の地域医療を守ることに繋がると考え、提案します。

誰もが参加できる！

『江津の地域医療を守る市民の会（仮称）』を設立し、

- ・ 地域医療の状況を把握し、共有する。
- ・ 地域医療を守るため住民ができることを学び、共有する。
- ・ 行政や医療関係者と共に、どのように地域医療を守っていくか話し合い、みんなに呼びかけ、行動していく。

「誰がどうやって設立するの？」 「失敗するんじゃないの？」

「そんなことできるの？」 「やる意味あるの？」 ……

すべては住民の皆さんにかかっています。

分からないことは、近くに実践者（住民の方）がおられるので、まずは、聞きに行ってみませんか？



おわりに

地域医療が無くなってしまおうと、困るのは私たち住民です。
医療の無い地域に、私たちは住めません。



地域医療を守るためには、行政だけで考えても、病院だけで考えても、市議会だけで考えても、課題解決はできません（できませんでした）。また、本日は時間の都合で触れていませんが、想像以上に進む人口減少の中医療体制をどうしていくのか早急で具体的な議論も必要です。

住民の皆さんの力が必要です。

「住民・病院・行政」みんなが一緒になって考えて、行動する。
その実現のために、江津市議会も病院や行政、また住民の皆さんへ
全力で呼びかけてまいります。
どうか、皆さんの力をお貸しくください。

本日使用したデータは江津市HPでいつでも確認できます。

本日来られなかった方にお話をしたり、振り返って考えるときにご活用ください。また、今後の取り組みの状況についても順次更新し、取り組みが分かるようにしていきます。

<https://www.city.gotsu.lg.jp/site/gikai/35979.html>

資料ダウンロードは
表記のURL・QRコードより可能です。



連絡先 江津市議会事務局

Tel : 0855-52-7498 Fax : 0855-52-3176